第２号様式

SDGs達成に向けたチェックシート

記入日	2024/9/13	企業名	東京電力パワーグリッド(株)　静岡総支社

以下のチェック項目に対して、「現在実施している具体的な取組」「今後実施予定の取組（赤字）」を記載してください。なお、チェック項目に対応する主なSDGsの目標を右の欄に表示しておりますので、取組内容に応じて適宜ご修正ください。

No.	側面 (分類)	チェック項目	取組例	現在実施している具体的な取組 今後実施予定の取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	環境	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況や温室効果ガス排出量の把握、エネルギー使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	・電力等のエネルギー使用量や温室効果ガス排出量の把握 ・省エネや温室効果ガス削減の取組の実施 ・再生可能エネルギー、グリーン電力の導入	・「統合報告書」で、温室効果ガスの排出量等環境に関する情報を公表 ・省エネの推進や業務車両のEV化等足元での取り組みを着実に実施するとともに、東京電力グループとして、2030年度に販売電力量由来のCO２排出量を2013年度比で50%削減、2050年度にエネルギー供給由来のCO2排出実質ゼロに向け活動していく。							●					●	●				
2	環境	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R（リユース、リデュース、リサイクル）を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	・廃棄物の削減計画の推進 ・使い捨てプラスチックの使用や廃棄の削減に対する取組の実施 ・自社製品の耐久性向上による長期利用の促進 ・使用済み自社製品の回収・リサイクルの実施	・廃棄物については３Ｒの観点から分別回収を実施し適正に管理するとともに、産業廃棄物処理は優良認定業者に委託し、適切に管理・処理を実施 ・産業廃棄物等のリサイクル率 99%以上の達成・維持に取り組み、プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出抑制と再資源化等を推進 ・不要になった碍子を絵付けして（碍子アート）お持ち帰りいただくリサイクル活動を主に小学生向けに実施									●			●	●	●	●		
3	環境	健全な森林環境や河川環境を維持するための活動など、生態系の保全に努め、地域や他団体が実施する環境保全活動に協力・支援している。	・海や山などにおけるゴミ拾い活動 ・生物多様性に配慮した持続可能な資源利用 ・市の自然環境保全活動への協力・賛同	・水力発電の水源涵養として、約60年にわたり尾瀬の自然保護活動を推進。動植物種の保全や森林による炭素固定や地下水涵養機能に貢献 ・上記で培った生物調査や環境教育の知見を活かし、さいたま市と地域の自然環境資産である見沼田圃等の自然環境保全・活用を推進 また、富士山麓の不法投棄パトロールや、沼津市の『市内一斉クリーン週間』の清掃活動へ参加												●	●	●	●		
4	社会 環境	事業に伴う調達について、環境負荷や人権などに配慮している。	・認証製品など非合法材でない原材料の調達 ・サプライヤーやパートナー企業に対して、人権尊重や生物多様性の重要性、ハラスメント防止等の重要性を説明し、その遵守を要請	・「東京電力グループサステナブル調達ガイドライン」を策定・公表。その中で人権・労働安全衛生への配慮、環境への配慮を明記し、サプライチェーン全体での配慮を実践している。										●		●	●	●	●		
5	経済 社会	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に積極的に取り組んでいる。	・製品安全に関する方針、目標、組織体制、基準等の整備 ・不具合発生時の対応手順の整備 ・ISO9001の取得	・「東京電力グループサステナブル調達ガイドライン」を策定・公表。その中で安全を第一としつつ競争力ある製品・サービスの提供と新技術・サービスの開発を明記し、サプライチェーン全体での配慮を実践している。								●	●			●					
6	経済 社会 環境	環境に配慮した製品の開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	・環境に配慮した材料、製品、サービスを提供 ・製造過程におけるCO2排出量やプラスチック使用量の削減を設計時に考慮 ・医療、教育、地方創生、人手不足等の社会課題の解決を目的とした製品・サービスの開発	・カーボンニュートラルに向け、再生可能エネルギー（洋上風力・太陽光等）、蓄電池・EV、次世代電力マネジメト（VPP・DR）等の産業発展へ次世代の送配電ネットワークで貢献する事業活動を展開 ・地域で活躍いただく次世代育成のため、小学校や中学校の学生と地域で働いている方との対話活動をアレンジする活動（「未来キャンパス」）を実施 ・沼津市と東京電力グループは「ゼロカーボンシティと災害に強い都市づくり」を目指している。 ～ＥＶ導入促進による「脱炭素型地域社会・地域防災強化」の取り組みについて～ 車両電動化促進を働きかけ、地域でのEV導入・充電環境（共同利用型充電ステーション）を活用した取り組みを通じて公共空間での意識啓発を行い、ゼロカーボンシティ実現を目指します。 「動く蓄電池」であるEVを活かし、地域企業・団体等との連携のもとに災害に強いまちづくりに取り組みます。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7	経済 社会	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、ワークライフバランスの推進や良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	・年次有給休暇の取得や長時間労働の抑制に関する方針、ルールが社内規程で定められている ・テレワークの導入 ・早帰り、ノー残業デーの推進	・心身の健康が確保され、社員の自律性の発揮と共創が推進される新しい働き方の実現に向けて、「いつでもどこでも誰とでも」快適に働くことができる環境づくりを展開 ・リモートワークの推進やそれを支える社内制度の導入等の働き方の改革と、カイゼン・DXを用いた業務改革に一体的に取り組んでいる。 ・コミュニケーション活性化やモチベーション向上を目的としたオフィスの改革を推進 ・月に1回の全社一斉退社日の設定			●		●			●		●							
8	社会	年齢、性別、国籍、障がいの有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	・男女共同参画推進事業所認定制度の認定を受けている ・職場のバリアフリー化等、誰もが使いやすい職場環境の整備 ・短縮勤務、在宅勤務等の制度整備、利用促進	・ダイバーシティ推進に向けたLGBT勉強会、仕事と育児の両立支援セミナー等の開催（適宜）や、フレックスタイム勤務や短時間勤務、在宅勤務等の制度整備により、利用促進を図っている。 ・上記を含めた種々の取り組みにより、次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」、女性活躍推進法に基づく「えるぼし」、Work with Prideセクシャルマイノリティへの取り組み評価に基づく「Pride指標シルバー」に認定					●			●		●							
9	社会	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメント等、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	・ハラスメントの禁止についての社内規程の策定 ・ハラスメント研修の実施 ・ハラスメント相談窓口の設置	・「東京電力グループ人権方針」を策定、公表し、あらゆる形態の差別やハラスメント、いじめ、不公平な扱いの禁止を謳っている。 ・具体的には、管理職向けハラスメント研修の実施やハラスメント相談窓口を設置（社内外）等を実施					●			●									

第２号様式

SDGs達成に向けたチェックシート

記入日	2024/9/13	企業名	東京電力パワーグリッド(株)　静岡総支社

以下のチェック項目に対して、「現在実施している具体的な取組」「今後実施予定の取組（赤字）」を記載してください。なお、チェック項目に対応する主なSDGsの目標を右の欄に表示しておりますので、取組内容に応じて適宜ご修正ください。

No.	側面(分類)	チェック項目	取組例	現在実施している具体的な取組 今後実施予定の取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
10	経済 社会	ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化など、業務の効率化やビジネスモデルの変革などに取り組んでる。	・顧客の情報をデータ化することによるテレワークやフリーオフィス化の推進 ・ICT機器の導入による従業員の作業時間の短縮	・AIやRPAの活用、独自のシステム開発等により、業務の効率化、ビジネスモデルや働き方の変革に取り組んでいる。								●	●		●	●					
11	社会	若者の就業や移住を促進するため、UIJターンの推進など、若者の定着に向けた取組を行っている。	・インターンシップの受入 ・市外在住の求職者への説明会の実施 ・WEBなどを活用した若者向けの情報発信	・県内高校からの就職前インターンシップの受入れとともに、社外イベント等での企業説明を実施 ・当社に限らず、地域で働いていただくために、No.6記載の小中学生を対象とした職業対話（未来キャンバス）を開催				●				●		●							
12	社会	疫病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	・ストレスチェックの実施 ・メンタルヘルス研修の実施 ・メンタルヘルス疾患に対応した休職規程の整備	・全社員を対象としたストレスチェックを実施（年1回）するとともに、管理職向けメンタルヘルス研修や、全社員向けのメンタルヘルス講習会を適宜開催			●					●									
13	経済 社会	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に努めている。	・職務、役割等に応じた研修の整備 ・通信講座や社外セミナーへの費用補助等、従業員が学習する仕組み、学習を支援する仕組みを構築する	・経営リーダー、事業創造人財、電力プロフェッショナル、DX人財、グローバル人財等、社員一人ひとりのめざす姿や適性に応じ、自己啓発や人財公募等の挑戦・選択機会を提供しながら、研修・配置等の育成プログラムを推進				●				●									●
14	社会	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	・コンプライアンスについて社内規程の策定 ・コンプライアンス研修の実施 ・コンプライアンス違反通報窓口の設置	・「東京電力グループ企業行動憲章」及び「東京電力グループ企業倫理遵守に関する行動基準」を定め、左記に関して、役員・従業員が遵守すべき具体的行動を明確にするとともに、社長を委員長とし社外有識者を含めた委員で構成する東京電力グループ企業倫理委員会を設置 ・社員やグループ会社、取引先など、東京電力グループの仕事に関わる方々から、法令や企業倫理違反に関する通報・相談を受け付ける企業倫理相談窓口も設置								●		●						●	
15	経済 社会	自社のSDGsの取組をマネジメントする担当者や担当部署を設置し、取組計画の策定、運用を行っている。	・サスティナビリティ推進委員会等の推進組織、担当部署、担当者の設置 ・推進計画に基づく取組の運用	・ESG担当役員を選任し、四半期ごとに業務執行状況を当社の取締役会に報告しており、取締役会は、戦略、行動計画および業績目標の進捗等を確認するなど気候変動のリスクおよび機会を監督 ・東京電力ホールディングスの社長を委員長とするESG委員会にて定期的にESG課題について審議	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
16	経済 社会 環境	自社の環境、社会、ガバナンスに関する取組を社外に公開している。	・自社の環境情報の公開、人権、労働に関する取組、リスクマネジメント体制のガバナンス情報等をHPで公開している	・自社の環境情報の公開、人権、労働に関する取組、リスクマネジメント体制のガバナンス情報等をHPや統合報告書等で公開												●					
17	自由 記述	環境　・　経済　・　社会																			

※現在実施している具体的な取組又は今後実施予定の取組について、以下の２点を満たしたうえで提出してください。

①経済・社会・環境の３つの側面それぞれについて、取組を設定していること

②10項目以上記載すること